

出題の意図

論述試験（教科教育「理科」）

問題の題材とした資質・能力を育むために重視すべき学習過程のイメージ（探究の過程）は、理科学習における問題解決および探究の過程を示すもので、学習構想や授業実践の基礎となる。その過程は、課題の把握（発見）、課題の探究（追究）、課題の解決の段階に分けられているため、各段階における授業構想と実践の具体について、「教材の工夫」（課題の把握）「学習展開の工夫」（課題の探究）「教師の指導・支援」（課題の解決）の観点から具体的に説明できるかを質問している。理科の学習プロセスを理論に基づき、具体的な方策レベルで説明できることは、教職大学における授業実践を通じた実践力の向上を目指すうえで必要となる基礎的な資質・能力を測ることになる。また、近年の理科教育において重視されている「探究」「主体的・対話的で深い学び」「理科における見方・考え方」「活用」等のキーワードが解答の説明において適切に用いられているかも評価する。